

民児協 あこう

広げよう 地域に根ざした 思いやり

第47号 平成27年 秋号



みんな笑顔で・・・

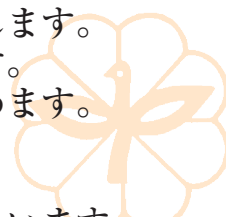
塩屋地区ふれあい敬老会



民生委員児童委員行動宣言

1. 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。
2. 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。
3. 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。
4. 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます。
5. 日頃の生活を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行ないます。

全国民生委員児童委員連合会



民生委員児童委員 各地区活動報告

御崎地区 「ふれあい敬老会」

御崎地区では9月20日、赤穂東中学校体育館において「ふれあい敬老会」が開催され、該当者535名中160名が参加しました。
御崎小学校金管バンドの演奏で始まり、保育所や幼稚園の子どもたち、婦人学級、高齢者大学など地元の方々が舞台上がり、会を盛り上げました。



赤穂地区 「災害に備える行動」

9月1日は防災の日でした。今年も日本各地で災害が発生し、住民の方々の避難行動が話題になっています。民生委員としてはひとり暮らし、高齢者夫婦の皆様が平時から災害に備えておく事を提案しています。
1、自分自身の防災訓練として、実際に避難出来るか、避難場所に移動して体感する。移動方法については民生委員も支援します。
2、日頃からの近所付き合いが災害対応の第一歩です。
3、災害時にすぐに避難出来るように持ち出し袋を用意しておく。



坂越地区「友愛訪問 いつまでもお元気で!!」

坂越地区では、年3回（2月節分・8月洗剤・正月年賀状）友愛訪問事業を行っております。今年も8月6日、衛生面と全員配付を考慮し、品物を持って友愛訪問を行いました。暑い季節は衣類の洗濯が多くなることから、洗濯洗剤（粉末箱入り）を一人に1箱ずつ、心を込めたお手紙を添えてお配りしています。今年から、まちづくり協議会主催との事で福祉推進委員と各自治会長との共同でお配りいたしました。一軒一軒心を込めて、品物を手渡すと「ありがとう、ありがとう」と笑顔で受け取って下さいました。



城西地区 「地区から届ける敬老のこころ」

城西地区の敬老会は、各自治会単位それぞれの6会場で開催されました。地元の獅子舞・フラダンスなど芸能アトラクション、また幼稚園のかわいらしい合唱や小中学生によるおじいさん・おばあさんへのメッセージプレゼント、その他ビンゴゲームなど盛大で楽しい一日をみんなで過ごしました。

高雄地区「敬老会のお手伝い」

高雄地区福祉推進連絡会は、自身に課せられた役割はもちろんのこと、まちづくり協議会の仕事を全て中心になって活動しております。以前、婦人会の方々がお世話していたことを、そっくり引継いで、特に女性の人達は活躍です。大変な負担ではありますが、これからもしっかりとお年寄りや地域の為に、頑張ってお手伝いしたいと思います。



塩屋地区「ふれあいスポーツ大会」

地域のつながりを目的に、塩屋西ふれあいスポーツ大会が9月6日(日)に塩屋地区体育館にて実施されました。本来は地区内の第5公園で行なっているのですが、大会当日が雨天の為に館内でも出来る輪投げ・ダーツゴルフ・ストラックアウト等の競技大会となりました。自治会・農業会・老人クラブ・子供会・女性会・民生委員児童委員・福祉推進委員等が一堂に会して競技を通じて楽しい交流の輪が広がりました。



有年地区「敬老会」

有年地区では、自治会ごとにそれぞれの内容の敬老会が行われました。西有年地区では、鳩を出したり、お札が増えるマジックショー、南京玉すだれ等の芸が披露されました。
お弁当や飲み物に舌鼓をしながら余興を楽しみました。
余興の間には、昔話に花が咲きたいへん楽しい時間を過ごせたのですが、もっと多くの方の参加を願う一日でした。



西部地区 「心安らぐ敬老会」

西部地区では、各自治会単位で敬老会が行われました。天神山地区敬老会では、9月20日に実施され、会場では久しぶりに会った人もあり、あちこちで笑いが起こり楽しい交流の場となりました。園児の可愛い合唱・生演奏にカラオケ・ビンゴゲームと催しも盛り沢山で楽しい時間もアツという間に過ぎ、本当に心安らぐふれあいの一日でした。

広報部会

- 広報部会是小野市を訪問し、民生委員児童委員の広報作成に関係しているメンバーの方々と広報紙についての研修をしました。
- 「民児協だよりおの」は、「民児協あこう」と同じ年2回発行されています。今回の研修内容を参考に、見やすい紙面作りに心がけます。



尾崎地区 「感謝の一日」

秋の恒例行事として各自治会主催による敬老会が開催され、尾崎地区福祉推進連絡会会員は、それぞれの地区での催しに参加協力しました。また、福祉推進連絡会会員相互の親睦を兼ねて健康な体づくりに必要な酵素の勉強と食品工場などの見学を行い、今回の研修を通じて多くの事を学びました。





すぐ“疲れた”という 子どもに、どう関わるの？

最近、すぐに“疲れた”と言う子どもが増えていると、よく聞きます。

その背景には、自律神経の不調の問題があり、寒冷昇圧試験で交感神経が過剰反応していることが、明らかになっています。

また、やる気、満足感や充実感を司る前頭葉の発達の遅れがみられるとの調査結果があり、これは小学校一年生において、集中力が維持せず、すぐに疲れたと言う、幼いそわそわ型の子どもが増えてきている現状からもうかがわれます。

では、何を心掛けると良いでしょうか？まず自律神経の不調の改善には、

- ① 光 — 日光に当たること。
- ② 暗闇 — 夜は明るすぎる環境は避けること。
- ③ 外遊び — 外で思いっきり遊ぶこと。

この3点で、メラトニンというホルモンの分泌が夜に多く昼に少ないという理想的な状態になります。

また、前頭葉の発達には、子どもがワクワク、ドキドキしながら夢中になる時間をつくるのが大切で、その取組みで、そわそわ型の子どもが減ったとの結果が出ています。

日常生活リズムを整えながら、また、家族だらんやふれあいの中で、ワクワク、ドキドキタイムを作り、親子で、大いに楽しみましょう。

児童福祉部会

私たちの研修は、赤穂市の早かごセミナーを利用して担当職員から児童に関する施策の説明を聞き話し合いました。また保育所で所長のお話や園児との交流も行ったり、時には児童養護施設に出向いて説明を受け、施設見学もしています。新しいことを見聞きして、私たちの頭を活性化しています。



障がい者福祉部会

社会福祉協議会の2名と視覚障がい者の方の協力を得て、研修を行いました。

当事者のお話を聞いた後、部会員がアイマスクを着けて案内される役と案内する役を交代で、視覚障がい者の体験をしました。想像以上に不安と恐怖心が感じられ、貴重な体験だったと、参加者からの感想です。

大切なことは「こんにちは」「何か手伝いましょうか」と声をかけ、歩きながら周りの状況を話しかけながら誘導することだと知りました。

老人福祉部会

老人福祉部会では、毎年手作りの記念品を作成して「在宅100歳以上高齢者友愛訪問」を行っています。

“今年もお元気な姿に逢えました”



編集後記

私達、民生委員児童委員が活動していくうえで地域社会の現状を見たり、行動するため必要となる知識を得るためのひとつの方法に部会活動があります。本秋号ではその研修状況等のお知らせ、各区での活動の様子を記事として掲載しました。

広報部会